



障がい者雇用の場は広がりつつあるといわれている。
が、働きたいのに働けない障がい者はまだ数多く存在する。
エル・チャレンジに関わった知的障がい者と支援者の姿を
一年半に亘り密着取材した本作品。
そこには、障がい者雇用の固いイメージはなく、
人と人とのつながりの中にぬくもりがあった。
人と人とのつながり・・・
つながりの中でこそその成長・・・

社会の中で働くことの意味を、今一度 問いかけたい！

監督プロフィール



北川希

- 19XX年 大阪南部に生まれる (将来の夢は、チンピラ、焼きそば屋、ボクサー、美容師…)
2005年 ふわ～としてたころ、田中幸夫監督と出会う 映像の世界へ
「未来世紀シナリ」【2007年度キネマ旬報ベストテン3位】三脚持ちからスタート
(いきなりカメラを回せと言われ、膝ガクガク… 1カット採用！うれしい…)
2006年 「落語笑々散歩」制作進行・ADとして参加 (制作の行程を把握、落語に詳しくなる…)
「テレビ東京 ガイアの夜明け」ADとして参加 (初テレビの仕事 変に緊張…)
2007年 「知的障がい者と雇用への道」撮影・演出 (障がい者雇用に興味を持つ…)
2008年 「グローバルに生きる」初インドロケ (予想通り腹をこわす。帰路、この仕事で生きていくか、と思い始める…)
「ハンセン病患者の里帰り」演出・撮影 (チンピラになる夢をあきらめる…)
2009年 「日本の忘れ物～塩飽諸島本島ものがたり～」【芸術文化振興基金助成作品】瀬戸内海の小島に1年半通う
(朝採れる海のものを出す、悦楽取材…)
「音楽ドキュメンタリー PAK-POE」ソウルでの映画祭に参加
「部落の心を伝えたいシリーズ」福岡・徳島・鳥取・滋賀・新潟を飛び回る
その他 フルーク映像制作の作品に AD・CG・演出などで参加
2010年 「モップと箒」初監督 (大変…でも面白い…)

メッセージ



エル・チャレンジ
理事長 富田一幸

◎ 就労支援の社会化

「介護の社会化」という言葉が日常化したのは、エル・チャレンジが結成された頃からだった。
あれから13年ほど経て、いま「就労支援の社会化」と模倣したとしても、さほど違和感はない。
なるほど働きたいけど、働けていない人が2000万人とも推計される時代だから、さもありなんだ。
「社会化」という以上、支援を受ける側からは「尊厳」が、支援する側からは「探究」が
醸し出されなければならないのは当たり前で、それは介護の場合と同じだ。
この映画はきっと、そういう時代を先読みしようとしているのだろう。
かつて「一周遅れ」と錯覚していた知的障がい者の就労支援が、実は一周先を走っていたのではないかと。ことを。



2011年 9月10日(土)より 公開

11日(日) 19:40～ 上映+スペシャルイベント開催
支援スタッフと監督のトークショー 会場:シネ・ヌーヴォ

9/10(土)～9/16(金)	11:10	12:25	13:40	14:55
9/17(土)～9/23(金)	18:45	20:00	—	—
9/24(土)～9/30(金)	13:15	14:30	—	—

◎ 特別鑑賞券 1,000円(税込) 好評発売中

◎当日一般 1,200円 ◎学生 1,000円 ◎高校生・シニア以下 800円
前売券は、劇場窓口、チケットぴあ、セブンイレブン、サークル、Kサンクス(以上Pコード463-022)他に

※上映詳細は劇場にお問い合わせください。

フルーク映像: <http://www.flugeizo.com/>

エル・チャレンジ: <http://www.l-challenge.com/>

地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩3分
阪神なんば線「九条駅」2番出口徒歩2分
シネ・ヌーヴォX
TEL.06-6582-1416
大阪市西区九条1-20-24
シネ・ヌーヴォ内 2F
<http://www.cinenouveau.com/>

